<table>
<tr><td>会 議 名</td><td colspan="2">第５回新城地域協議会</td><td>公　　開</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和６年７月４日（木）
午後７時００分～午後９時００分</td><td>場　　所</td><td>市役所本庁舎
４階会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出 席 者</td><td colspan="3">（委員）
権田康之、西尾泰昭、矢賀美紀代、坂巻克彦、坂部岳、清水利高、
今泉澄夫、佐本達俊、丸山哲也、中川享子、髙木猛至、今泉克英、
小栗健次、鈴木雅晴、白柳明美、安形元成、今泉光俊
福本克司、大瀧章義、沼田宣、今泉栄、畠山恵美子</td></tr>
<tr><td colspan="3">（事務局）
市民自治推進課：杉本参事、宮本副参事
新城自治振興事務所：今泉所長、藤本主事</td></tr>
<tr><td>欠 席 者</td><td>松井利文</td><td>傍 聴 者</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>配布資料</td><td colspan="3">次第
資料１　令和６年度新城地域協議会開催日程表
（第５回地域協議会改正案）
資料２　地域自治区予算　実施計画事業一覧表
（令和６年度実施事業）
資料３　新城地域自治区　令和７年度地域自治区予算
各行政区要望（見積前）参考
資料４　新城地域協議会だよりについて</td></tr>
</table>

議題・議事・発言等（要点記録）

１　開会

委員２３名中２２名の出席により会議成立の報告、及び会議録署名委員の指名
（権田康之委員、西尾泰昭委員、矢賀美紀代委員）

２　議事

（１）地域活動交付金前年度審査について

新城地域協議会の現状の地域活動交付金申請スケジュールでは、交付決定を受ける７月頃からでないと事業に着手できない。これは以前からも協議会で話題になっていたことである。申請団体が４月から事業に着手できるよう、前年度中に申請受付および審査会を実施することについて諮った。

令和７年度事業を４月から着手できるよう、令和６年１１月に募集の周知、１２月から１月にかけて申請を受け付け、２月１５日（土）に第１６回新城地域協議会（地域活動交付金審査会）を開催するスケジュール案を事務局から提示した。

賛成１９名、反対３名により、スケジュール案のとおり実施することが可決された。

<意見>

○役員の引継ぎとか、やりたいイベントを前年の役員に決められてしまうと自由度がないのでは。

○こども園保護者会については、地域活動交付金でなく、活動予算を地域自治区予算で担保することができないか。それを小学校や中学校の活動にも広げられないか。

○こども園保護者会の活動が地域自治区予算で担保されるような形がもしあるなら、保育士の先生たちの負担が増えるならそれには反対である。

○こども園保護者会の活動は予算を担保して、申請を省くことはできないか。

○７月からの着手でも問題ないと考える。
○前年度審査にすれば予算枠の残を地域自治区予算に振り分けられると聞いたことがある。
⇒予算の年度が異なるため、振り分けはできない。
○地域協議会で年度当初から地域自治区予算検討に時間を割けるのはメリットである。
○早めに団体に伝えておけば、前年度に経験した申請をした方たちに相談をしながら考えられて、その点はいいなと思った。
○４月から着手されたい方も多い。

（２）令和７年度地域自治区予算の検討について

まず、事務局から令和６年度事業の説明をした。その事業を地域計画のカテゴリーごとに分類し、担当するグループで疑問点や課題などを話し合った。その後、各グループで出た意見を全体に発表した。

<A（高齢者にやさしいまちなか・いつもにぎわうまちなか）グループ意見>

・高齢化社会対策事業
○お手伝いチケット、まちなかサロンの趣旨は良いので継続していく方がよい。
○利用者がどれくらいで今の予算規模で妥当なのか、実際に団体からの意見も聞いて検討した方がよい。
○サポートするときのタクシー券の活用も含めて検討するとよい。
○予算をつければすぐできるかは別として、各地区で増やしていけるとよい。

・しんしろまちなか散策推進事業
○来年度以降どう進めていくかは、継続的に考えていくことがよい。

・にぎわい創出事業
○今の映画祭だけで続けるのか、さらに映画祭以外のイベントも拡大できるとよいのではないか、といったことを直接実行委員会から聞きたい。

<B（つながりのあるまちなか・子育て支援が充実したまちなか）グループ意見>

・地域集会施設整備費補助事業
○集う場所としては公民館が妥当だが、耐震性能もハッキリしないので防災面の不安がある。
○集まりやすさには駐車場も大きく関わる。
○地域拠点として公民館が相応しいかということも含め、老朽化した部分を補修していくのが良いのか、計画立てていく必要がある。

・こども園英語に親しむ機会づくり事業
○実施している様子や頻度など、保護者が把握できていない。もっとアピールする必要がある。
○英語圏ではない外国人の市民も増えていると聞くため、色んな言語が触れ合うような機会も併せて進めるとより効果が出るのではないか。

・子育て茶話会開催事業
○昨年の茶話会で出た意見の事業化を進めるとよい。
○地域活動交付金のこども園保護者会の申請で、動物と触れ合うものが必ず出てくるため、そういったものを事業化するのがよいのでは。

<C（安全で安心して暮らせるまちなか）グループ意見>

・自主防災組織防災活動援助事業
○防災資機材の活用機会の工夫が必要。ガス発電、はそりなどを祭礼時の炊き出しで使ってみるとか、訓練の代わりに使ってみるなど。
○防災資機材の講習会を１年に１回、２回など明確に決めてやるのはどうか。

〇防災倉庫が手狭だという意見も出た。防災倉庫を更新できるとよい。
・ＡＥＤ普及推進事業（公民館等）
・ＡＥＤ設置管理事業（コンビニ）
〇AED が設置されている場所を回覧してはどうか。
〇AED の種類もたくさんあるため、更新するとしても機種を再考できるとよい。
・防災専門部会運営事業
〇どのようにメンバーを選考して、どのように招集するのか。
・交通安全対策事業
〇青パトの活用方法、どんな組織なのか、どのように防犯になるかなどを知りたい。
・交通安全施設整備事業
・地域安全灯設置費補助事業
・防犯カメラ設置費補助事業
〇機種の選定をしてはどうかという意見が出た。

全グループ発表後、関係団体から話を聞いてみたいという意見を受け、新城まちなか映画祭実行委員会とピンコロの会の方に、第６回新城地域協議会へ参加を依頼することが決まった。

３　その他
（１）第６回新城地域協議会日程確認
７月１８日（木）午後７時００分から　市役所４階会議室
（２）第７回新城地域協議会日程確認
７月３１日（水）午後７時００分から　市役所４階会議室
（３）地域協議会だよりの発行について
７月１６日に新城地域協議会だより第５２号が回覧されることを情報共有した。

４　閉会